

浜嶋です。

おはようございます。

昨日の合同運動会は、大きな感動をいただきました。皆さん、ありがとうございました。『2団は、いいなあ』。団対抗リレーはドラマの連続で、最後の最後の1秒で逆転しなおして勝利し、それで全体の総合優勝となりました。『みんな、感動をありがとう』

最後まであきらめない気持ちが勝利に導きました。

don't give up.

田中駿伍君、ありがとう。あれは忘れられない瞬間でした。

最初からビーバースカウトの2位発進は好調でした。福田海翔君、糸瀬幹大君、よかったですよ。

金城家族が頑張ってくれた。

お母さんは期待どおりの1位への猛烈な追い上げをしてくれました。

内賀嶋隊長は頑張ったねえ、1位を死守。すばらしい。

カブ隊スカウトからは、1週走る。今回の1週は長かった。

くまスカウトの原一心君、山崎将寛君は頼もしい。1位を守りました。

ボーイ隊スカウトは、新入6年生が頑張りました。

立石恵仁君と金城空良君の力走。余裕でリードを守り、繋ぎました。

続いて、空良君は、お父さんにバトン渡し。

お父さんが追われる展開となり、最後に駆け込んだが絶妙の逃げ切りバトン渡し。

下村副長が1位で駆け込んだお父さんから上手にバトンを受けとる。

接戦で走り切り、1位でアンカーにバトンを繋いだ。優勝の2文字が現実的になってきて、応援の声が一層大きくなった。

アンカーは、ベンチャー隊の高校1年生、陸上部の駿伍君、新しいヒーローの誕生だ。

余裕で先頭を走るかと思いきや、地面で一回転して追い付かれ、2周目では、2位に後退。

担当団の18団に優勝させてあげるのもいいかと納得しようと思ったが、駿伍君の最後のスタミナの差が勝利に導いた。ゴール直前30mで追い上げた。間に合わないか、駄目かと思った。でも、駿伍君は、諦めていなかった。最後の瞬間に18団は、ゴールを前にしてバランスを崩して、地面に這いつくばってしまった。

いつもより長いトラックは過酷なアンカー勝負だった。さらに感動を高めたのは、最後の一瞬で起こった。う〜ん。この感動は、”たまりません”よかった。よかった。

団対抗リレーで、2団は逆転優勝。

リレーの1位は、200点、2位は100点だ。リレーの直前は1位から4位の得点差がわずか85点。すべての団に総合優勝の可能性が残された。逆転を可能とする点数配分が、2団に微笑んだ。でも、2団は全体によかったんです。

B S 隊、V S 隊選抜大縄跳びは、1回目に最多回数を記録、2回目は残念だったけど得点ゲットに貢献。班旗立て競争で、最速で立ち上げた2団が優勝。これは前日に練習し、応援席でも練習していたよね。準備が大切。

4月2日の総会、式典の後の各隊紹介で、私が班旗立て競争の意気込みを新入スカウトたちに聞きました。「頑張る」と宣言してくれたことは達成できました。内賀嶋隊長の喜びはいかほどだったのでしょうか。でも、内賀嶋隊長は、これに甘んじずに真の力を身につけるようスカウトにこれから精進するよう励ましていたと聞きました。

「より速く、より高く、より美しく」を目指そう。

犬と骨は、カブ隊スカウトの活躍。見事に1本取りましたね。

5人6脚は、2回戦とも1位。内賀嶋隊長の指導によるいつもの勝ちパターン。事前練習と気持ちと動きを合わせる団結力がすべて。

B V S 隊、C S 隊の大縄跳びは、なかなか難しかった。でも、真剣に頑張ったね。転んでも最後まで頑張った。

4連覇を目指した下村応援団長の応援合戦の順番は、4人の団委員長のじゃんけんにより一発目で最下位に決定。最後の順番は、王者の順番だ。今回は、2分30秒。昼休みに2回練習して、13時10分前に練習を終了。

大接戦でした。75点満点の65点で1位。2位は64点。私は、18団に23点、22団に22点、16団に21点の評価をした。結果を見ると他団に高めの評点を与えたことになる。それでも、優勝だ。下村新応援団長、プレッシャーに打ち勝って4連覇、おめでとう。

各運営担当の皆さん、お疲れさまでした。

召集・集合係は、金城さん、白崎副長。判定は、吉田隊長。競技説明は、内賀嶋隊長。競技係は、谷岡副団委員長、立石副長。用具係は、加納育成会長、藤丸副団委員長。スタータは、坂口副長。得点・記録は、中西団委員。放送は、大田団委員、清水さん。記録は、吉田団委員。自転車誘導は、阪田団委員。

応援席の家族の皆様、ありがとうございました。

本当に楽しい。努力の積み重ねですね。皆さん本当にありがとうございました。